

322	小学校3年から6年まで、4年間同じ先生に担任していただきました。授業以外にもビニールハウスを手作りしての栽培活動など、いろいろな企画をしてくださいました。怒られたこともたくさんあったけれど、楽しく頼もしい先生でした。	川上村	34 歳
323	今年から新しい仕事を担当し、わけもわからないまま毎日が進み、あたふたとしながら期限ギリギリで仕事を進めていた意識があり、多方面にめいわくをかけている、と実感していました。目の前のことで精一杯で…と弱音を吐いていた時、大先輩が「目の前にあることをやり遂げる、が正解です」と、木村拓哉さんのネット記事【“夢はない”と告白「目の前の仕事が、僕のなかでは最優先」】を紹介してくださり、今のやり方で大正解だから、大丈夫、と心を支え、背中を押してくださいました。この調子で、とにかく目の前のことをがんばろう、そうして前にどんどん進めています。	天理市	34 歳
324	私の心に残る恩師は、高校の野球部の監督です。県予選、いつも一回戦で敗退していたチームを、甲子園目前まで行けるチームにしてくれました。休みは、正月3日とお盆の3日のみ、今から思うと家族をかえりみず指導に当たってくれていたと思います。今では、年を重ねて丸くなられましたが、私にとってはいつまでも背筋が延びる方であり、良い青春の思い出を与えてくださった先生です。	東吉野村	55 歳
325	体育の、先生が夏に向けてひにひに黒くなって行って、笑った時に、歯だけが白く見えた	奈良市	33 歳
326	小学校4～6年生まで担任をしてもらっていた先生にはとてもお世話になり、今の自分の人格形成にとっても影響されている先生でした。私がクラスメイトに意地悪をされても何も言い返せない時、その先生の厳しくも温かい声掛けにより、私は自分に自信を持つことができました。今、私が教員として現場に立っているのもその先生に憧れたことがとても大きいです。	橿原市	26 歳
327	小学校3, 4年生の時に担任をしていただいたU先生のことをよく思い出します。山の中の学校へホンダのオートバイで赴任された天大柔道部卒業の先生。カミソリよりも大木を倒す斧になれと教えてくださいました。	黒滝村	63 歳
328	以前、天理市の教育委員会にいた時の上司の先生が、人としても上司として今も尊敬しています。私の中では、頼りになる上司の中で1番です。「何かあれば」と口に出さなくともいつも、みんなの仕事を把握されていて、後ろから支えてもらっていました。何かイベントがあれば、スムーズに進むようにと関係機関に真っ先に挨拶に行っていたり。出会ってから20年以上経った今でもお付き合いをさせていただいて、そして、いつも何かあれば助けていただいています。	奈良市	57 歳
329	恩師が高校卒業の時に「勉学で1つ、勉学以外で1つ、誰にも負けないものを見つけて取り組みなさい。」とくださった餞。未だに忘れていません。	大和郡山市	53 歳
330	幼稚園に勤務して6年目、年長5歳児の担任をした時に奈良市の研究発表園になり、子どもたちと一緒に遊びを創造し、素材探しはしんどかったが心弾ませて保育に勤しんでいた。おかげで子どもたちは成長し保護者にも喜んでいただいた。ご褒美の遠足でメリーゴーランド等他クラスに乗っているのを順番を待ちながら楽しく見ている様子を見て、園長先生が本当に子どもがよく育っている。先生が何も指示しなくても、友達と協調しながらその場にあった行動ができている。素晴らしい。よくここまで育てたね。と褒めていただき本当に嬉しかった。この体験のおかげで子どもの気持ちを大切に、今日から明日へ目標をもって保育をすればクラスは一つにまとまり楽しく保育ができることを学んだ。	退職	69 歳
331	前任校の学年主任が年度初めの学年集会で生徒たちに語った「親より先に死ぬな」という言葉が自分自身も親になった今、改めて重く感じます。その先生は前年度担任した生徒を事故で亡くし、お通夜で保護者の方と涙を流した話をしてくださいました。普段から学級を¥¥	香芝市	29 歳

332	高校時代の恩師 私が高校でお世話になった頃は、20代の若い恩師であったが、担当科目だけでなく、いろいろなことを指導していただいた。国語の教師を目指すようになったのも、この恩師の国語の授業の雰囲気の影響があった。 母校の高校での教育実習の際に丁寧に具体的に指導していただいた。そして、教師になってからも、同じ国語科の教師として、授業に関するアドバイスをしていただいた。更に部活動指導に関することでもお世話になった。 年齢がさほど離れていなかったが、この高校時代の恩師は、私にとっては、よき先達であり忘れられない存在である。	退職	64 歳
333	小学6年生の時の先生。渡辺先生のことが今でも心に残っています。渡辺先生は、新任の先生でした。何もかも一生懸命で、ガリ版刷りの学級通信を遅くまで残って印刷して、みんなに配ってくださったり、学級の人々と一緒に遊んでくださったり、とにかくみんなと一緒に過ごそうと努力してくださっていました。 まだ宿直制度があった時代で、渡辺先生が宿直の時には、母親が弁当を作って学校に届けるようにと言ってくれました。友達と一緒に夕方の学校へ出かけ、先生とひとしきりおしゃべいをしてから家に帰ったものでした。先生と児童、家庭との距離が近いことが当たり前の時代の思い出です。	退職	65 歳
334	同僚で、今は定年退職しておられますが、以前勤務していた養護学校の高等部、担当教科は体育の大先輩。授業は毎回全力で楽しむ。盛り上がる。 同じくサブで入っている他の先生方も、生徒相手にも全力。あの時は楽しかったー。 サッカーの試合も本気。風船バレーなるオリジナルの対戦ゲームにも本気。(もちろんこどもたちの安全をしっかりと意識して、守った上で) 自分が教師として「こうありたい」と深く思えた出会いでした。	天理市	36 歳
335	高校の倫理の先生が、今でも心に残っています。哲学の授業でゲーテを知り、ゲーテの著書を読み漁ったのを覚えています。学が喜びを教えてくださいました。	奈良市	39 歳
336	私が小学3年の時のこと。お花係だった私は、教室に生けてあったお花の水を、廊下の手洗い場で入れかえて、教室へ戻ってきました。とその時、私は入り口のドアのレールにつまづいてしまい、大きな黄色い花瓶を持ったまま転んでしまいました。花瓶は割れ、床は水浸し…。大きな音に担任のW先生は、すぐ私のところに飛んでこられました。私は大変なことをしてしまったので、とても叱られることを覚悟しました。しかし私の予想に反して先生は、「大丈夫？けがはない？」と、私の体のことを一番に心配してくださいました。そして花瓶が割れてしまったことなど、一言も責めたりはされませんでした。 このことは、40年以上たった今でも忘れることができません。W先生が私に掛けてくださった温かい言葉を、子どもたちに『ふわふわ言葉』として、いつもこの出来事とともに紹介しています。	橿原市	52 歳
337	今ではほとんど死語になっている「スイカ泥棒」。初任の教頭として赴任されたM先生は、昭和30年代、大学の講師時代に、農学部で栽培しているスイカの泥棒を捕まえ、地元の新聞にも載ったという経歴の持ち主。ある時、私の出張の補充として授業で畑の畝づくりをして頂いた。帰校後、その畝を見せて頂いたが、なんとも真っ直ぐできれいな畝ができあがっていた。鍬一本であんなにきれいに仕上げられた畝は、他に見たことがない程だった。野菜作りの基本は土づくり、畝づくり。以後も多様な教示を頂き、基本を大切にしていける授業づくりや、どうせやるなら丁寧に等という、教員としてのあり様を多く学ぶことができた。 今夏もわが家で採れたスイカを見ながら、M先生を偲んでいる。	退職	64 歳
338	中学3年生の時の担任の先生は、女性の体育教師でしたが、生徒達を引っ張っていくタイプで、引っ込み思案の私が、色々と活躍の場を設けて下さり、今でも感謝しています。	生駒市	50 歳

339	初めて勤務して、何も分からない私に色々優しく教えてくれ、冗談を言ったりして和ませてくれた年配の先生が居ました。誰にでも優しく、愚痴を言わない先生でした。働いて4年目、テスト前で遅くまで残っているある日、連絡がありました。その先生が、帰りの電車の駅で倒れ、そのまま亡くなったという突然の訃報でした。現実のことか分からないまま、次の日になり、生徒にも伝えなくてはいけないことになり、全校放送で、校長から連絡し、その後、各学級で担任から話をしました。人前で泣くのが嫌いな私は、気丈に伝えようと思っていましたが、涙が溢れて止まりませんでした。なぜ、こんな優しい人がこんな早くに亡くなってしまうのか。きちんとお礼も言えていないのに。色々な思いが込み上げ、生徒に上手く伝えることが出来なかったと思います。テスト前で生徒の弔問はなしとしましたが、それでも一目会いたいという思いから、葬儀に訪れる子もいました。みんなから愛されていたのだと感じました。人はいつ、どうなるか分からないな、と実感して、ますます日々の生活を大切にしようと心に決めた出来事です。	東吉野村	38 歳
340	中3の時の担任 高卒で就職と思い込んでいた私は、就職に有利なように、専門課程へ進学しようとしていた。普通科に行って、将来を考えてもよいのでは？と、アドバイスをもらう。あの一言がなければ、教職に就くことはなかったかもしれない。 小学校、高校、大学でも、ステキな恩師に出会えてきた。	天理市	52 歳
341	新採1年目、私が山間の小学校に赴任した時、仕事も地域とのお付き合いも何も分からない私に、ほんとうに親身になっていろいろなことを教えてくださった先生がいました。私が、公私にわたり困ったときにも自分のことのように救いの手を差し伸べてくださる方でした。その方が、退職後、講師として引き続きお勤めになっていたのですが、夏休みの家庭訪問中倒れられ、そのままお亡くなりになりました。大変つらかったのですが、その方らしい亡くなられ方だったように思えました。それ以降、お盆前には墓前に手を合わせに生かせてもらっています。先生のようにはなれないと思いますが、近づきたいという思いで働いています。	宇陀市	56 歳
342	小学6年生の時の担任の先生です。あまのじゃくで、エンターテイナーで、卒業してからも人生の楽しみ方を教えてくださいました。よく、子どもたちをいい意味で挑発したり、刺激したりしていました。今思えば、自分たちで立ち止まったり考えたりする場を作ってくださっていたのだと思います。ご病気で亡くなられてしまったけど、今まさにお話したいことがいっぱい、会いたいなあと思日々思います。	王寺町	36 歳
343	以前勤めていた学校で、とてもすてきなあいさつを生徒に教えてくださった先生がいました。きちんと立ち止まって相手の顔を見て手も揃えて挨拶してくれてとても心地よかったです。その学校に八年ぶりに戻ってきました。今もそんな挨拶をしてくれる子がいます。受け継がれていることがとてもうれしいです。	奈良市	60 歳
344	私が赴任した3校目の学校で、同じ学年を担当した3人の先生がいます。 年齢も近く、私を含め4人とも親と同居し、子供達もよく似た年齢です。 仕事の話は勿論、家の話、趣味の話何でも話し、食事や旅行もよく行きました。 仕事場がそれぞれの転勤で変わり、退職した後もお付き合いが続いています。 30年の間にいろいろなことがあったけれど今も同じように話ができることが嬉しいです。	退職	68 歳
345	「生徒に好かれようと思うな。好きになれ。」という言葉が心に残っている。教員になりたての頃、生徒から嫌われたくないという思いから、つい生徒に甘くなってしまう自分がいた。そんなとき、先輩の教員から、言われたのが先ほどの言葉である。生徒に迎合するのではなく、しっかり伝えるところは伝えていくことが、本当に生徒のためになることであると教わった。うまくいかないときもあるが、生徒のことを好きでいる心は絶えず待ち続けていようと思う。	川上村	33 歳

346	小学校4、5年生の時、1時間目の授業がよく消えた。 担任の先生は、朝学活でいろいろな話を毎日してくれた。内容は、新聞やテレビで流れるニュースや番組、地域のできごとなど、私たちの興味のありそうなことや、考えさせたいことなどで、当時は思わなかったが目的あつてのことだ。 小さなわら半紙に私たちには読めない大人の字で話題が書いてあった。1学年1学級の35人は話に食いつき意見や思いを遠慮なく口にし、調子に乗りすぎて怒られることもたまにあった。 私たちは先生の頭上にある時計の針に時々目をやりつつ、先生の手が教科書に伸びぬようにこちらからも話題を繰り出し、1時間目終了のチャイムが鳴ると「やったー」と歓声をあげたものだった。 後に中学校の教員となった私は毎日話題を探し、そのやりとりで生徒たちと喜びや怒りなども共有するようになっていた。	東吉野村	59 歳
347	小学校5・6年生の担任の先生を中心に、小学校でお世話になった先生方をよく覚えています。担任の先生だけでなく、全ての先生・職員の方々と繋がっていたと思います。たくさんの人に見守られ、認められていたと感じていました。 今度は私が！と毎日頑張っています。	奈良市	31 歳
348	中学校の担任の先生が数学の先生で、3年生の放課後、ずっとワークや外部模試の解説をしてもらってました。それがきっかけで数学の先生になりたいと思い。その先生の教え方を大事に繋いでいます。一緒に働く機会が1年だけあり、お礼を言うことができました。	天理市	28 歳
349	中学3年生の時に習った数学の先生がとてもわかり易い指導で数学が好きになったのですが早くに出会いがああればもっとよかったなと もう他界されましたが とてもいい先生でした～	退職	66 歳
350	大学生の時に、レポート課題で恩師を訪ねて、教職に関する内容のインタビューをするというものがありました。高校生の時に3年間担任としてお世話になった先生を訪ねて、いろいろと話を聞くことにしました。当時の自分は、教員を目指すかまだ決めかねていたのですが、結果的に教員を目指すきっかけになった言葉があります。それは『未来ある子どもたちを育てることは、働きがだけでなく生きがいを感じる』というものでした。今現在も、目の前にいる、大きな可能性を持った子どもたちと共に成長しながら生活をしていることで、毎日が非常に充実しています。	橿原市	39 歳
351	貧しくて修学旅行の費用が払えなかった時に出世払いでいいと言ってポケットマネーから出そうと言ってくれた担任の先生	奈良市	65 歳
352	「教育ではなく、共育を目指しなさい。」 大学の実習で上手く行かなかった時に、大学の先生からかけて頂いた言葉。先生と言うのは、子どもたちより先に生まれただけで、何も偉くない。ただ教えこんで育てようとしても、子どもの心は開かないし育たない。だからこそ、共に育っていくという気持ちを大切にすることで、今まで見えなかった子どもたちの姿や心が見えてくる。 この言葉を頂き、今私は子どもたちと同じ時間を共に過ごす事ができています。	奈良市	24 歳

353	小学校1年生で担任していただいたY先生は、当時53歳のベテラン女性教員でした。体が弱く病気がちで、本が唯一無二の友達だった私のために、いつも図書室の本を手家庭訪問してくださいました。クラスのみんなのことや、授業の内容など、いろんな話を聞かせてくださったので、学校へ行けない期間も、Y先生を通してみんなとつながることが出来ました。それまで読んだことのなかったファール昆虫記やシートン動物記といった科学系の読み物と出会ったことが、中学校理科教員となった私の原点です。 ベテラン教員と言われる年代になって、私はY先生のように、子どもたち一人ひとりに真摯に向き合っているかと、いつも考えさせられます。先生にいただいたものを子どもたちに返していきたい、Y先生のような教師になりたいと、いつも、いつでも…、そう思っています。	宇陀市	54 歳
354	全国的に校内暴力が吹き荒れた70年代に初任者として赴任した学校で、当時30歳代の先輩方が引っ張り続けてくださった学校立て直し取り組みの中で、子ども達が抱えた本当の課題に触れながら、全てを抱えて…っていう実践は、退職まで忘れられずに。 あれから10年。今、指導者が主体性を持って時代を越えられる実践は、どうあるべきなのか？考えます。	退職	69 歳
355	私が20代後半から30代前半の頃、生駒東小学校で一緒に働いた女性の先輩。職員室で、教室で子どもたちがどんなことをしていたか、どんなことを話していたかを、とっても楽しく話してくれました。相当手のかかる子、やんちゃな子も、その先生の「ものまね」を交えた話を聞くと、かわいく思えたものです。 当時、子どもとの関係作りに悩んでいた私は、そんなふうにしに、愛おしげに子どものことを語れる先生を尊敬し、またうらやましくも思いました。10数年後、少しは成長できた私が、再びその先生とコンビを組んで6年生を担当し、無事卒業させることができたのは、私の教員人生最高の思い出の一つです。 職員室で、子どもがしたこと、しゃべったことを楽しく再現できる先生は先生は優れた先生！それが私の確信です。	生駒市	60 歳
356	私は教師になったばかりの頃、子どもたちの前では完璧でいたい、子どもたちの要望にはできる限り応えてあげたい、それが良い先生だと思い毎日必死でした。でも、もちろんそんな上手くいくわけもなく、時間に追われて心身共に疲弊した結果、子どもたちに余裕のある対応ができなくなったり、ある子のヘルプを見逃し初期対応が遅れたり、完全にダメな先生でした。そんなとき相談した先輩の先生に「教師だって人間やねんから完璧なんて不可能や。わからんことがあったらわからん、しんどいときはしんどい、素直に言った方が子どもたちは助けてくれる。良い格好する必要はない。」と言われ、肩の荷がおりました。そしてその先生が仰ったことは本当に、子どもたちに自分の素直な気持ちを伝えたり、苦手な事をあえて見せると子どもたちは優しい声をかけてくれたり、助けてくれたりするようになりました。ただそれだけで、自分にも余裕が生まれ子どもたちときちんと向き合える時間も増え、学級経営も軌道に乗りました。あの時相談に乗ってくださった先輩の言葉は本当に有り難かったです。	奈良市	34 歳
357	新規採用から数年間、多くのことを教えてくれた先輩。心の底から信頼し、「この先輩の言うことならすべて正しい」と思っていた。今もずっと尊敬し、目標にしている。 そんな先輩も今は管理職、今も同じ学校で働いているが、4月に先輩からもらった言葉は「あなたに任せたら大丈夫。信頼しているから好きにしてい」。今も良い信頼関係が築けている。	王寺町	34 歳
358	小学校5年生の担任の先生。 優しくて厳しいハキハキした先生でした。 その先生に憧れ、教師を目指し、今に至ります♪	川上村	58 歳
359	小学校4年生の時の担任の先生ですが、集団疎開の引率をされた方で、しょっちゅうではありませんが、戦時中の話をしてくださいました。1970年代半ばでしたが、そんな先生はいらっしゃいました。生の体験を聞いた経験は、本当に貴重でした。	高取町	56 歳
360	初任の頃、いつも子ども目線でその子の立場になってどうしたらいいかを個別に考えていた先輩の先生。どんなときも子どもを受け入れて暖かく育もうとしていたその姿勢にとっても大切なものを教わりました。	奈良市	42 歳
361	いつも名前を間違えずに呼んでくれた先生が心に残っています。	奈良市	64 歳

